



片貝中学校同窓会会報

第6号 2006年1月

片貝中学校 ☎ 0258(84)2030

☎ 0258(84)3880

<http://www.city.ojiya.niigata.jp/katachu/>

(中学校HP)

<http://www.katachu.com> (同窓会HP)

E-mail katachu@city.ojiya.niigata.jp



就任にあたって

同窓会長

安達 隆

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

今年度から歴史ある片貝中学校同窓会の会長を勤めさせていただきますこととなりました。

初代会長の南波謙一様から数えて七代目になります。先般、機会があつてお話しさせてもらった中で同窓会が発足したのが創立十周年の時であつたと聞かされ(今年度の卒業生第59回)も

うすぐ五十年が経とうとするんだと認識する次第です。

近年同窓会も浅田前会長、吉原前副会長の御尽力により窓友の発刊、同窓会のホームページの開設、成人の四尺玉の取り扱い等々多岐に渡り町民の皆様方と接する機会が増えてきた様に感じられます。

昨年度は、東京シェフズクラブの震災ボランティア『日本の?!シェフ達がやってくる』の受け皿として同窓会、小中PTAの協力の元子供達と保護者と一緒にプロの味に舌鼓をうって和やかに過ごした事を覚えております。

また同窓祭では、船出会、翔

心会の幹事学年の皆様が企画された小千谷市消防団の金子正夫氏の「中越地震からの教訓」と言う演題を拝聴し改めて地震の恐さ、市内の状況を聞かされ行政の対応にも限界が有り地域隣近所のつき合いや縦横のつながりが必要とわかり同窓会もその様な潤滑油の一助となればと認識を新たに致しました。



輝く同窓会

片貝中学校教頭

内山 博之

今年度四月より、片貝中学校にお世話になっております。よろしくお願いいたします。

この間、東京片貝会総会、東京片貝会教育講演会、同窓会球技大会、同窓祭と参加させていただきました。

ただき感動の連続でありました。近年、このようなしつかりとした同窓会組織が存在する中学校は、日本で片貝中学校だけではないでしょうか。本日に、同窓会の方々と接する中で情熱を感じることができました。

また、東京片貝会総会に参加させていただいた時、八十五歳の女性の方が出席されていました。大変元気に小学校の校歌を歌われていた表情がとても印象的でした。きっと、片貝町での生活を思い出されていたのでしよう。

教育講演会では、内藤富美子さん(つくし会)が「皆さんの夢は…自分の可能性を考える」という題で、フロアーと一体となり、夢をかなえるために何が必要であるか、何をしなければならぬかを児童生徒に自分の体験・経験を通してお話をさせていただきました。

このような同窓会主催の事業が担う役割は大きく、片貝町・人々を大切にしようという気持ちを育てているのではないのでしょうか。ある生徒が次のようなことを言っていました。「私は、片貝町が好きです。理由は、安心して生活しているからです」と、すばらしいことです。

最後になりますが、同窓会の益々の発展を心からお祈り申し上げます。

同窓会役員

名譽会長	渡辺清滋	校長
会長	安達隆	にじ会
副会長	浅田功	つくし会
副会長	安部恒	ふたば会
事務局長	久賀透	さざなみ会
副事務局長	小野塚祐一	翼進会
事務局	内山博之	教頭
	安達富弘	西戌会
	石上勉	西戌会
	吉井正人	友心会
	神林巖	一心会
	相崎秀人	鳳凰会
	吉原正明	鳳凰会
	安達尚子	実生会
	相崎貴子	成友会
	丸山奈子	五十一会
	堀井絢子	嚙聖会
幹事	安達淳	恒暉会
会	小宮和弥	にじ会
	吉原裕二	みつわ会
	堀井悟	鳳凰会
	小宮堅	つぐみ会
	藤塚司	恒友会
	山口達也	輝友会
会計監査	浅田昇	船出会
	久賀清寿	翔心会

同窓祭を終わって

第十五回同窓祭実行委員長
船出会
浅田 昇

今回十月三十日に開催したのは当然、地震から一年という事で(十月二十三日は記念行事の開催が予想されるので一週間ずらししました)内容は、関連した講演と言うことから小千谷消防署に依頼したところ「地域に密着した話が聞ける」と小千谷市消防団の金子副団長を推薦していただきました。

結果、参加された皆様より「なかなか聞けない話が聞けてよかった」と言うお言葉を多数頂きうれしく思いました。
無事終えることが出来ました



のは、同窓会役員や実行委員のご尽力によるもので感謝の気持ちでいっぱいです。

最後になりましたが当日参加の皆様並びにご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。

震災復興ボラン ティアの受け入れ

『日本一の?! シェフ達が
やってきた』

(3月28日)

石上 勉

平成16年11月に、「中越地震復興
興ボランティアで片貝の子供達

に元気をだしてもらいたい」と東京・渋谷を中心とした調理師会の皆様から、縁あって前同窓会長のもとに依頼があり、同窓会を窓口を受け入れることになりました。

先方の活動内容計画は、子供達と一緒に料理やケーキを作り、町の皆さんからも集まって頂き片貝に元気を取り戻して欲しいとのことでした。日程も子供達中心なので春休みに設定し、総合センターで3月28日と決まり私達役員を含め町の人にも協力援助して頂き当日を迎えました。

東京からは、白い帽子のコックさんがはとバス一台で総勢40人。集まった子供達はこれからどんな事が始まるんだろうと期待でいっぱいだったと思います。



行事が始まるとケーキ作りは大人気、大人も子供も終始盛り上がり無事一日が終わり、夕方皆さん東京へ帰って行きました。本

当にありがたかった一日でしたが、つくづくコックさん達の熱意には、スタッフ一同関心させられました。また今年も来られますが、今度は地元の子供達がコックさんに元気をやりたいと思います。

長岡交響楽団震災復興祈念 片貝コンサート開催

(9月24日)

「みんなとの最後の

思い出コンサート」

片貝中三年

久賀 美里

今回のコンサートの企画を聞いた時、少し不安で、でもすこ

くワクワクして楽しみでした。曲はとても難しかったですが、交響楽団の皆様は、とても優しく親切で、私達の知らない事や、もっと上手になる方法を教えてくださいました。演奏し終わった後のお客さんの拍手はとても温かく、また最後の校歌ではお客様にも喜んで頂けたようでした。こんな素晴らしいコンサートを企画運営してください。ありがとうございました。



わが同級会

二十歳、三十三歳、
四十二歳、六十歳を
むかえる同級会を
紹介します。

選歴行事に向けて

十五誓会会長
安達 辰夫

我々「十五誓会」は十五歳の時に、第十五回目の卒業生とゆう事に絡め、卒業時に人生指針「十五の誓い」を樹て、努力してきた素晴らしい仲間達です。ここにその誓いの一部を紹介させていただきます。

一、つまづいても、ころんでも今の自分を反省し、工夫して一歩一歩前進しよう。

一、いつまでも互いに心の友となつて助け合い、そして励ましあつて進もう。

さて、そんな私達「十五誓会」も九月の祭礼での選歴記念行事の成功に向け、只今準備に励んでおります。社会事情厳しい昨

今ですが七十名程の参加が見込まれ、先ずはホツとしてゐる処です。戦後元年に生れて会員数の少ない私達は、諸先輩方の超大型花火とはゆきませんが心意気だけは負けないつもりです。少しでも皆様方のご期待に添えられるよう会員一丸となつて頑張つております。同窓会及び町民の方々にご指導ご協力を戴きこの選歴行事を無事成功させたいと願つております。どうぞよろしくお願い致します。

四十二歳を迎える

さざなみ会会長
山口 貴史

新年明けましておめでとうございます。

私もさざなみ会は、片貝中学校第三十三回卒業生です。現在九名の新規会員を迎え八十六名で活動を行つております。

会の名前の由来は、御察しの通り三十三回に合わせた語呂合わせです。水を想像させる名前の威力がこんなに強いものかと今まで私どもの大きな行事は、殆ど雨になつております。成人、

三十三歳とドシャ降りの中で執り行つてまいりました。是非とも町民の皆様からも私どもさざなみ会が、秋晴れのもとで秋季大会を挙行出来ませうようお祈り頂ければ幸いです。

そんな中で、先般私どもの小学校卒業記念である十三畑のすべり台のリニューアルを行いました。四十二歳を期に今まで育んで頂きました町民の皆様感謝し、また他地域には類まれの同級会の絆、伝統を継承し精進していく所存でございますので、今後ともまだまだ力不足の私どもへ、皆様方の御指導御鞭撻を願ひ申し上げます。

「私達平成会」

平成会会長
米山 裕子

私達平成会は、片貝中学校平成二年第四十三回卒業生です。

昭和から平成に年号が変わつてからの片貝中学校卒業生と言う事で、「平成会」と名付けられました。昭和と平成新しい時代を築いて行つて欲しい!!と言う意味でもあります。そして今年三十三歳厄祓と言う人生の節目を迎えました。私達平成会は、女性会員が多く女性が主導権を握

ると言う、まさに平成を代表する同級会です。男女とも仲が良く同級会などではいつも多数参加してくれるので、級友とは良いなあと心から思っています。

ふり返ると、恩師に見送られ八十一名の花が片貝から旅立つて行きました。今季大祭に向けては、八十一名一丸となり、一生の想い出に出来るよう頑張つていきます。私達平成会は、「片貝健児」その魂で浅原の空に平成の「華」を咲かせたいと思いますので、町民の皆様、又先輩方々ご指導の程よろしく願ひします。同級生一同片貝の地に生まれ、本当に幸せであり誇りに思います。



第54回卒業生
「愛星会」
愛星会会長
安達 勇二郎

僕達は、今年成人を迎える愛星会です。

僕らの会は、とても仲が良く、一人が困った事があつたりすると、みんなで助けあい、解決していくという素晴らしいチームワークがあります。

そして、僕達愛星会には、とても素晴らしい団結力があ

す。

賽の神や片貝祭の準備をする時も、みんなが協力してくれるので、とてもスムーズに仕事が進みます。

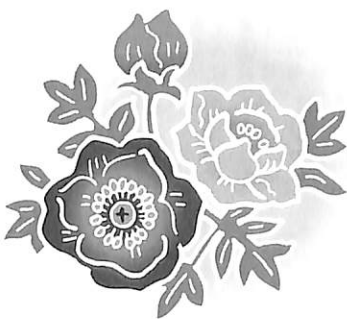
これは一人一人が愛星会の会員という自覚を持ち、みんなが積極的に行動してくれるからだと思います。

僕もみんなが助けてくれるので、とても楽しく、そして素早く仕事ができます。

僕たち愛星会は、いつも笑いがたえることがなく、楽しい会です。

僕はこの愛星会の会長になれたことをとてもうれしく、そして誇りに思います。

まだ成人になつたばかりですが、よろしく願ひします。





教育講演会について

東京片貝会 母校を励ます会
会長 本田 秀幸

母校の先生方、同窓会や片貝町の皆さん、教育講演会にご協力いただき、誠にありがとうございます。母校を励ます会は、母校のお役にたとうという趣旨で活動しており、ご賛同いただいた多くの片貝町出身者からのご寄付により運営されております。

恒例の教育講演会は、二十三年前に会の設立と同時に、諸先輩が先生方と協力して始められました。昨年はつくし会の皆さんから推薦をいただき、内藤富美子さんに講演いただきました。内藤さんは、生徒の前に自身の経験から「よく聞き、よく見て、よく話す」ことの大切さを話してくれました。聴講する生徒達の真面目で真剣な姿に片貝の伝統を見、また会を開催して良かったと感じました。

さて、インターネットは鉄道が開通すること以外の劇的な変化を世の中に与えています。商店、銀行、旅行社、税務署、図書館であり、自分の店や郵便受けであります。都会と地方の差

はありません。しかし、片貝のインターネット環境は大幅に遅れ、危機感を覚えます。時代に乗り遅れることなく、逆にこの変化を他に先んじて自分たちの力として、町を活性化させるチャンスです。以前は子供の数も多く、都会に出ざるを得なかったものですが、最近では少子化で、実家以後継ぎとして残る後輩が多くなっております。これらの現実に対応した教育が子供達の未来と、より暮らしやすい片貝に繋がるものと思えます。会ではご寄付の気持ちに添うよう活動していきます。ホームページは「東京片貝会」で検索できますので、活動報告などをご覧いただき、ご協力をお願いいたします。



東京片貝会講演会を聴いて

つくし会
吉原 正勝

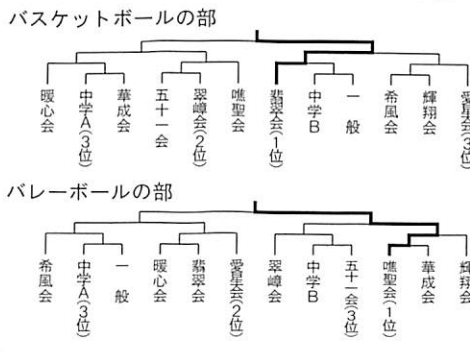
昨年十月に東京片貝会講演会が二十三回を数え、我々つくし会の内藤富美子さんから「夢」について講演をして頂きました。リラククス体操から始まり雰囲気や和らげ、思い描いていた保母への夢の実現への道のりを数々のエピソードを交えての話でした。色々な事に挑戦してチャンスにも恵まれ、それを生かし頑張った勝ち得た夢の実現。やがて近い将来自分達に迫る就職の選択の時、夢を持ちそれを達成する為は何を学び、何が必要なのか実感が湧かないまでもエキスになった事と思えます。大人の思いが思う様に伝わりにくく今日ですが、後輩の為に企画した講演は生徒にも伝わり、皆、熱心にメモを取り聞き入っていました。生徒達もこれから色々な体験を通し、この中から後輩にすばらしい人生を語り伝えてくれる人が出てくる事でしょう。

最後に五十歳の節目にいい機会を与えて頂いた東京片貝会と内藤富美子さんに感謝し、一度自分の人生を振り返ってみるのもいいかなと思いました。

同窓会球技大会

バスケットボールの部
優勝 翡翠会
バレーボールの部
優勝 唯聖会

H17年度 同窓会球技大会トーナメント表



新入会員 華成会

私たちの級友会名は「華成会（かせいかい）」です。この名前には、これから将来華やかに成っていく（成長する）「向日葵（ひまわり）学年」なので、「花（はな）」「華」にちなんでつけました。

駅伝大会

- 総合 第1位 片貝中学校 陸上部B
- 女子の部 第1位 ベレー部
- 小学男子の部 第1位 チビスターズ
- 小学女子の部 第1位 バレーンジャー
- 同級会の部 第1位 翠進会
- 社会人の部 第1位 なかよしガンバリマッシュョイチーム



編集後記

今年はコンサートやシェフのボランティア等今迄の行事とは違ったお手伝いをさせていただきました。同窓会として今後より一層様々な活動に協力していきたいと思えます。